

2021 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2021 年度分)

団体名	神戸学院大学薬学部および薬学部ライフサポートチーム
<p>【目的・動機】 高校までの教育に引き続いて、大学でも一次救命処置を学ぶ傾向にあることも背景の一つである。大学に入ったら運転免許を取るという学生も多く、自動車学校でも AED 等を学ぶが、定着させることを目的としている。また、薬学生にとっては特に重要な事柄であり、ひいては学生時代から CPR/AED の重要性を積極的に周囲に説いて欲しいとも願っている。</p> <p>【実施方法・内容】 感染症対策のため、Zoom 上で PowerPoint 提示し、一方的に話し続ける形となった。本年度の対象はおおよそ 220 名の薬学部 1 年生のみとした。主な内容は次のとおりである。途中で Bondi Beach の YouTube や文部科学省の児童のアナフィラキシー事例の映像を含めた。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 事前に神戸市の「応急手当 WEB 講習」の受講を課した。(2) 一次救命の重要性と手順。(3) エピペン(アナフィラキシーショック時の一時的処置薬)の存在と補助の手順。(4) 救急安心センターの「# 7 1 1 9」の周知。 <p>【成果】 Zoom 講義 10～20 日後に試験を行った。(問題には学部科目に関与した問も含んでいる為、以下の数値は概値)</p> <ul style="list-style-type: none">・胸骨圧迫手順の実際と学内の AED 設置場所：正答率 8 割以上・エピペンの知識と補助手順：正答率 3～4 割・# 7 1 1 9 の症例：正答率 8 割以上 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none">・講義のみとなったため、内容を詰め込み過ぎた感があったが、それは試験結果にも表れている。内容を精査し正答率 up が必要である。・大学生にはエピペン携帯者が多いことを知り、貸出の練習用エピペンを Zoom で見せ、救急処置であることを示した。・学生に、対象地域となっている大阪府や神戸市の在住者が多かったためか、#7119 には正答率が高かった。・本団体は学部名を冠しているが、学外や一般市民の方々も対象としており、今後は活動範囲の拡大努力が必要である。	